

【支部総会報告】

2024 年度 学友会山陰支部 支部総会報告・意見交換会報告

鳥取生協病院 秋吉正史(短8回生)

2024 年 11 月 30 日(土)に松江市 松江テルサ 4 階研修室にて学友会山陰支部総会が開催されました。5 年ぶりの開催で、参加者は「顔を合わせての会が待ち遠しかった」との一方、長年支部を引っ張ってきていただいた先輩方の欠席を参加者は寂しく思いました。

総会では、藤原秀司支部長(短7回生)の挨拶から錦 成郎学友会会長、笠井俊文学友会顧問、水田正芳大学教授のご挨拶を賜りました。大学近況報告として小山 博様(学生支援センター／キャリア支援室センター長)より山陰への入職予定の情報、大学で設置予定の大学院について説明があり、早速参加者から入学希望の申し入れがありました。今回議題として「山陰支部総会参加者を増やしたい」を協議しました。鳥取からの参加者が1名であったこともあり、参加者を増やすには声掛けがまず重要といった意見交換を活発にできました。

会員発表は「山陰支部におけるタスクシフト／シェアの実態調査報告」で支部長がアンケート結果報告を行い、病院現状報告として2演題。石倉周平氏(大4回生)、細田 隆太郎氏(大4回生)が発表しました。両施設ともタスクシフトに対し安全面、教育の仕組みの体制を整えていて、チェックリストを用いた手順書などを活用状況の紹介がありました。意見交換では先駆的な両施設の情報をもっと詳細に知ることができました。

島津製作所講演は田中修二氏から「我が国での重要な歴史 村岡先生と島津製作所 新しい一般撮影装置」のご講演でした。島津製作所の歴史では、京都の卒業生であることから、何か学生時代を思い出される装置であったり、京都の地名、地図が出てきたりと懐かしい情景を思い出しました。最新の動向についても詳しく触れていただきました。

意見交換会は、錦会長の乾杯のご発声から思い出話、近況報告など、話は尽きることなく時間があっという間で楽しい時間を共有できました。会を盛大に行えたこと、参加いただきました皆様に心より御礼申し上げます。次回は2年後鳥取県を開催地に考えています。多くの山陰支部会員との交流ができるよう(特に鳥取会員出席は1名でしたので)取り組んでいきたいです。

最後ではございますが、株式会社島津製作所の皆様には会場準備、設営も含めご尽力賜りました。感謝申し上げます。



以上